

ふれあいかんだより



かわさきし
川崎市ふれあい館

かん

くじょうかいけつせきにんしゃ
苦情解決責任者

ちえ
崔
すずき

かんいぢゃ
江以子
けん
健

かわさきしかわさきくさくらもと
〒210-0833 川崎市川崎区桜本1-5-6TEL : 044-276-4800
<http://www.seikyu-sha.com> e-mail : fureaikan@seikyu-sha.com

かわさきしょかん
川崎市所管

みらいきょくせいじょうねんしょんしょ
こども未来局青少年支援室 (TEL044-200-3083)

2026.1.1

No.441

こそだ 子育てフェスタにふれあい館ブースで出展しました。



11月30日(日)に川崎区役所主催の「川崎区子育てフェスタ」が開催され、ふれあい館ブースを設置しました。今年度から市役所新庁舎を会場に改めたことからか、来場者が2.5倍にも増えて大盛況でした。ふれあい館ブースにも大勢の人にお越しいただき、「いろいろなはだいろ」でのぬりえや、民族衣装を着ての記念撮影を楽しんでいただきました。みんなが子育てしやすい街になるよう、これからも活動に取り組んでいきます。

キッチンろばで「サモサ」をつくりました。



12月6日(土)にキッチンろばを開催しました。識字学級に通うインド出身の方から、サモサ(インド風揚げぎょうざ)の作り方を教わりました。サモサの具材はジャガイモとグリーンピースだけですが、小麦粉に混ぜるギー(バター油の一種)と、さまざまなスパイスを組み合わせて、なんとも深い味わいになりました!サモサと一緒にいただいたのは、同じくスパイスと生姜をふんだんに使ったチャイ(スパイスミルクティー)。おいしいものに国境なし。これからもいろいろな料理を教わります!!

がいこくじんし民 外国人市民と起震車を体験しました。



12月9日(火)に多文化交流学級で「防災&交通安全ワークショップ」を行ない、識字学級の学習者・共同学習者の皆さんとともに参加しました。当日は、地震がきたときの安全行動の練習、ふれあい館から避難場所までの経路を歩いたあと、桜川公園にて起震車体験、AED講習・体験、携帯トイレや消火器の使い方などを学びました。地震がほぼない国から来ている外国人市民の方もおり、意欲的に参加し、感想を言い合う姿が見られるなど、それぞれ貴重な経験になりました。また、自転車の交通ルールや防災食・グッズの紹介もあり、日常生活で役立つ情報を得ることもできました。

ふれあい館 1月の予定

こども部門

子育て支援、児童の放課後生活の援助、子どもの学習と文化活動の支援

●こそだて支援・・・乳幼児とおとなためのプログラム 〈定例のプログラム〉

ぴよぴよタイム &café ろば	5日 (月) 14日 (水)	10:00~11:00	お子さんの身体測定と保護者のおしゃべり会です。
小麦粉ねんど	7日 (水)	10:00~11:30	小麦粉ねんどで遊べます。 ※アレルギーの方はご遠慮ください。
木のおもちゃ	21日 (水)	10:00~11:30	木のぬくもりがここちよいおもちゃで遊びます。

【予約制】めざせすべ手肌！ハンドケア講習会

●日時 1月19日 (月) 10:30~11:30 定員10名 (先着順)

手肌の水分量を測ってケアの方法を学びます。申し込みはろばに直接お越しください。

協力 ユースキン株式会社

キッチンろば「キムチづくり」

●日時 1月31日 (土) 9:30~12:00 申し込み後抽選制 結果は23日 (金)

ハルモニ直伝のキムチづくりをします。申し込み期間は1月6日(火)~21日(水)までです。参加決定された方は材料費600円程度かかります。

キッズスペースろばではママたちの活動中の保育支援をしています。

くわしくはキッズスペースろばまで

●小中学生プログラム・・・ ほかにプログラムがあるよ♪ くわしくはたより (あそぼ) をみてね

もちつき体験	6日 火曜日	1時~	ふれあい館でもちつき体験ができます。
--------	--------	-----	--------------------

ふれあい館の小学生プログラムは、みんなの意見をもらいながら、毎日のプログラムをたてています。館に毎月のたより (あそぼ) があります。

●民族文化サークル

ぶよう 舞踊クラブ	毎週 火曜日	4時~5時	毎週火曜日の放課後に活動しています。
ハロハロクラブ	毎週 水曜日	3時~6時	学校の宿題や、色々な国の遊びや文化を学びます。
こどもチャンゴ	毎週 金曜日	4時~5時30分	毎週金曜日の放課後に活動しています。

●中高生の活動

しょう 小・中学生学習 サポート	毎週 火・水・木曜 毎週土曜	7時~9時 1時~3時	おも 主に新渡日外国人の小・中学生 (水曜日・土曜日)、お よび経済的に困難で学習塾に行けない中学生 (火曜日・ 木曜日) の基礎学力保障のための学習会
------------------------	-------------------	----------------	---------------------------------------------------------------------------------------

<p>かわさきし 川崎市ふれあい館 人権尊重学級part2 「境界をこえる人権」</p> <p>社会には、制度や文化の違いによって形づくられる多様な“境界”が存在します。本講座では、差別の裁判事例、外国人労働者の実態、アート表現の役割を通して、人権課題を多角的に学びます。境界を理解し、その克服に向けた視点を身につけることをめざす講座です。</p>		
1月16日 (金) 18時30分～20時30分	「差別と裁判」	講師 神原元さん (弁護士)
1月24日 (土) 16時～18時	「外国人労働者と人権」	講師 鳥井一平さん (移住連共同代表理事)
2月27日 (金) 18時30分～20時30分	「人権とアート～記憶を辿る～」	講師 飯山由貴さん (美術家)
<p>場所 ふれあい館 (川崎区桜本1-5-6)</p> <p>人権尊重の啓発、民族差別の克服、共に生きる社会の創造を目的とした講座です。事前申し込みの上、趣旨をご理解のうえ、ご参加ください。</p> <p>申し込み: 044-276-4800 fureaikan@seikyu-sha.com (担当 遠原)</p> <p>主催: 川崎市ふれあい館 川崎市教育委員会</p>		

<p>①プンムルノリ入門講座</p> <p>日時: 1月11日(日) 13:00～15:00 1月12日(月) 13:00～15:00 3月14日(土) 13:00～15:00 3月15日(日) 13:00～15:00</p>		
<p>②サンモ・ソゴ講座</p> <p>日時: 1月11日(日) 15:15～17:15 1月12日(月) 15:15～17:15 3月14日(土) 15:15～17:15 3月15日(日) 15:15～17:15</p>		
<p>韓国・朝鮮に伝わるプンムルノリ(農楽)、ソゴを学んでみませんか?</p> <p>講師 李理恵子さん ①、②ともに定員:6名(電話及び来館による申し込み制、先着順)</p> <p>受講料:無料(動きやすい服装でお越し下さい)</p> <p>主催:川崎市ふれあい館 川崎市教育委員会</p>		

<p>「한글入門講座」</p> <p>講師: 李相粉 先生</p> <p>内容: 読み書きを中心にゆっくりと丁寧に学んでいきます</p> <p>期間: 1月19日(月)～3月30日(月)</p> <p>曜日・時間: 毎週 月曜日 (全10回) ※休日はお休み 午後7:00～8:30</p> <p>場所: 川崎市ふれあい館 参加費: 無料 (定員20名) 持ち物: 筆記用具</p> <p>申し込み: 1月5日(月)から電話か来館で受け付ます。</p> <p>: 044-276-4800 メール fureaikan@seikyu-sha.com</p>		
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

ようび 曜日	まいしゅうかようび 毎週 火曜日・金曜日	さんかひ 参加費	きょうざいひ 無料 (教材費は実費)
じかん 時間	10:00~11:30		

● 高齢者 在日高齢者と世代・民族を結ぶ交流事業や高齢者の生活相談

在日高齢者交流クラブ「トラヂの会」

在日高齢者の自主活動です。感染予防をしながら活動します。10時30分から活動しています。詳細やご相談は044-276-4800までお電話ください。

こくちばん
告知板

しゃかいふくしほうじゅんせいいきゅうしゃ
社会福祉法人青丘社では、日本語が壁になって様々な行政サービスにつながりにくく
なっている外国につながる方々の様々な手続きをお手伝いする活動を行っています!

● 入学の手続きのお手伝いをします!

らいねんど
来年度に小学校に入学する新1年生がいる家庭に「新人学準備金」のお手紙が川崎市から
届きます。1月8日に締め切りです。申請ができると3月にお金が振り込まれます。

※所得などの一定の要件があります

書類の書き方が分からない人のお手伝いをします。送られてきた手紙を持ってふれあい館にきてください。



△ 今年は戦後80年とい
うこともあり、戦争にま
つわる史実を伝える
報道が多くなされてま
したが、一方で「不都合
な史実」を「認めない」

という、デタラメな言い分も聞かれるこ
とがありました△私の子どものころは、
まだ「戦後」の色彩がそこらに残っていました。
「傷痍」軍人の姿を見ることもありま
したし、小学生のとき住んでいた
中原区の平和館辺り一帯はまだ米軍の
接収地でした。周囲には鉄条網が張りめ
ぐらされ、アーミーカラーの関係者が
定期的に敷地を巡回、夜は懐中電灯で
照らされることもあり、その土地は「平和
でない場所」と子ども心に感じていま
した△私の母は満州からの引き揚げ者で
す。満蒙開拓団の農業指導者として
「満州・新京(現:長春)」に渡った
祖父母。母と叔父が産まれたあとに戦争
が終わり、祖父はシベリアに抑留され、
祖母は幼子二人を連れてひたすらに日本
をめざしました。まだ1歳半だった叔父
は朝鮮半島の黄海道で、栄養失調のた
め亡くなり、名もない山の麓に埋められ
たそうです。日本に戻った母は、引き揚げ

中の過酷な体験を一切語ることはなか
ったそうですが、出迎えた親戚の前でア
リランを歌っていたそうです△「戦争に
巻き込まれたことは仕方なかったのよ」
が口癖だった祖母でしたが、あるとき、
「運命だなんて言葉で片付けたら死んだ
こどもに申しわけない」とつぶやきました。
子の命を守るべく親なのに、戦争に
巻き込まれていったとき、何もできなか
った…でも、それを考えだしたら、どう
にもたまらならなくなってしまう…そ
んな気持ちを奥底にしまい込んでいたの
でしょうか。そして、ひとりで幼いわが
子を看取った若いころの祖母に思いを馳
せると切なさでいっぱいになります。
今年の夏、祖父母の法要があり、挨拶にた
った母は子や孫を前に、「ぜったいに戦争
を起こさせてはいけない」と強く訴えま
した△戦火に追われ、夫や子どもの身を
案じ続けた、戦争ただ中の日々を「あのこ
ろはよかった」という人の存在を、私は
知りません。来年は戦後81年、再来年は
戦後82年…戦後を永遠に守らなければ
ならない。そのためには何ができるか、こ
れからも摸索していきたいと思います。

(木)